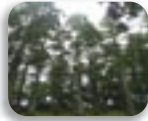


にちなん 議会だより



市の花
(ツバキの花)



市の木
(飯肥杉)



市の鳥
(メジロ)



市の魚
(カツオ)

第4号
(平成22年2月1日発行)



少年消防隊



[第4号の主な内容]

- ①第6回臨時会及び第7回定例会での審議内容及び結果一覧…(2ページ～5ページ)
- ②平成20年度各会計決算について……………(6ページ)
- ③一般質問に26人が登壇〔質問・答弁の一部を掲載〕 ……(7ページ～14ページ)
- ④常任委員会報告ほか ……(14ページ～16ページ)

《 審 議 結 果 一 覧 》

※ 審議結果欄の凡例

「○」：全会一致で原案可決または原案認定、採択

「×」：全会一致で原案否決または原案不認定、不採択

「○」：賛成多数で原案可決または原案認定、採択

「×」：賛成少数で原案否決または原案不認定、不採択

第6回臨時会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
議案第60号	平成21年度日南市一般会計補正予算(第3号)	予算審査	○	○
議案第61号	日南市章の制定について	-	-	○
議案第62号	日南市旗の制定について	-	-	○
議案第63号	日南市の花、木、鳥及び魚の制定について	-	-	○

第7回定例会で審議した議案とその結果

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
認定第1号	平成20年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第2号	平成20年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第3号	平成20年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第4号	平成20年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第5号	平成20年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第6号	平成20年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第7号	平成20年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第8号	平成20年度北郷町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第9号	平成20年度北郷町特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第10号	平成20年度北郷町特別会計老人保健歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第11号	平成20年度北郷町特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第12号	平成20年度北郷町特別会計介護保険事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第13号	平成20年度北郷町特別会計分収造林事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第14号	平成20年度北郷町特別会計簡易水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第15号	平成20年度北郷町特別会計公共下水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第16号	平成20年度北郷町特別会計農業集落下水道事業歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第17号	平成20年度南郷町一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第18号	平成20年度南郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第19号	平成20年度南郷町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第20号	平成20年度南郷町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第21号	平成20年度南郷町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第22号	平成20年度南郷町大島簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第23号	平成20年度南郷町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○

番 号	議 案 名	付 託 委 員 会	審 議 結 果	
			委 員 会	本 会 議
認定第24号	平成20年度日南地区衛生センター管理組合一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第25号	平成20年度南那珂地域視聴覚教育協議会会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第26号	平成20年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第27号	平成20年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第28号	平成20年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第29号	平成20年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第30号	平成20年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	○	○
認定第31号	平成20年度日南市病院事業会計決算の認定について	決算審査	×	×
認定第32号	平成20年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第33号	平成20年度日南市大島簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第34号	平成20年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第35号	平成20年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第36号	平成20年度日南市公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第37号	平成20年度日南市水道事業決算の認定について	決算審査	◎	◎
認定第38号	平成20年度日南市下水道事業決算の認定について	決算審査	◎	◎
議案第64号	平成21年度日南市一般会計補正予算(第4号)	予算審査	○	○
議案第65号	平成21年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	厚 生	○	○
議案第66号	平成21年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	厚 生	○	○
議案第67号	平成21年度日南市介護保険特別会計補正予算(第2号)	厚 生	○	○
議案第68号	平成21年度日南市病院事業会計補正予算(第3号)	厚 生	○	○
議案第69号	平成21年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	建設水道	◎	◎
議案第70号	平成21年度日南市漁業集落排水特別会計補正予算(第1号)	建設水道	◎	○
議案第71号	平成21年度日南市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	建設水道	◎	○
議案第72号	平成21年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第1号)	建設水道	◎	○
議案第73号	平成21年度日南市水道事業会計補正予算(第2号)	建設水道	◎	◎
議案第74号	日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総務文教	◎	○
議案第75号	宮崎県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について	総務文教	◎	◎
議案第76号	宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県市町村総合事務組合同規約の変更について	総務文教	◎	◎
議案第77号	宮崎県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	厚 生	◎	◎
議案第78号	日南市立保育所条例の一部を改正する条例	厚 生	○	○
議案第79号	財産の無償譲渡について	厚 生	○	○
議案第80号	権利の放棄について	産業経済	◎	◎
議案第81号	日南市土地改良事業分担金徴収条例	産業経済	◎	◎
議案第82号	日南市農村公園等条例の一部を改正する条例	産業経済	◎	◎
議案第83号	財産の減額譲渡について	総務文教	◎	◎
陳情第1号	安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情	総務文教	継続審査	継続審査
陳情第2号	「協同出資・協同経営で働く協同組合法」(仮称)の速やかな制定を国に求めることについての陳情	産業経済	継続審査	継続審査

番 号	議 案 名	付 託 委員会	審 議 結 果	
			委員会	本会議
陳情第9号	健康づくり屋内温泉プールの確保に関する陳情書	厚 生	審議未了(※)	—
陳情第11号	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める意見書採択に関する陳情	厚 生	○	○
請願第12号	改正国籍法の厳格な制度運用を求める請願書	厚 生	継続審査	継続審査
請願第13号	後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出の請願書	厚 生	継続審査	継続審査
請願第14号	2010年度の年金確保に関する請願書	厚 生	継続審査	継続審査
陳情第15号	国に「治安維持法犠牲者への国家賠償法(仮称)制定」を求める陳情	総務文教	継続審査	継続審査
議員提出議案 第13号	「東九州自動車道及び国道220号防災対策未実施区間」の予算確保を求める意見書	—	—	◎
議員提出議案 第14号	悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第15号	高速道路原則無料化の撤回を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第16号	新たな防衛計画の大綱の速やかな策定を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第17号	平成22年度予算の年内編成を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第18号	農山漁村の多面的機能を維持する施策の推進を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第19号	「新過疎法」の制定促進を求める意見書	—	—	○
議員提出議案 第20号	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費の45%に戻すことを求める国への意見書	—	—	○

(※)「審議未了」とは、議会の会議に付議された事件が、会議中に議了せず、継続調査の決定もなされないままに、会期を終えることになった場合のこと。審議未了となった場合は、廃案となります。

《第七回定例会の主な日程・経過》	
十一月二十七日	決算審査特別委員会全体会議 【本会議】 開会 会議録署名議員指名、会期決定 二十年度決算認定一括上程 決算審査特別委員長報告、質疑、討論、採決 議案第七十四号上程／委員会付託 その他議案一括上程
十一月三十日	【委員会】 総務文教委員会 【本会議】 議案第七十四号上程 総務文教委員長報告、質疑、討論、採決 その他議案一括上程／質疑、委員会付託 予算審査特別委員会全体会議 十二月八～十一日
十二月十四日	【本会議】 市政に対する一般質問 追加議案上程 提案理由説明、質疑、委員会付託 陳情の各常任委員会付託 十二月十五日
十二月十八日	【委員会】 特別及び各常任委員会付託案件審査 十二月十八日 【委員会】 予算審査特別委員会全体会議 【本会議】 特別及び各常任委員長審査結果報告 質疑、討論、採決 議員提出議案上程 提出者趣旨説明、質疑、討論、採決 閉会

第六回臨時会概要

平成二十一年第六回臨時会は、十月三十日に開会し、一日間の日程で開催されました。

平成二十一年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案四件を審議しました。採決の結果、いずれも原案可決と決しました。

一般会計補正予算概要

★新型コロナウイルスワクチン接種助成事業
〔六千五百万円〕

新型コロナウイルスによる死亡者や重症者の発生をできる限り減らすための医療の確保やワクチン接種費用の助成事業を行う。

その他の議案

★日南市章の制定について
★日南市旗の制定について
★日南市の花、木、鳥及び魚の制定について（表紙参照）

第七回定例会概要

平成二十一年第七回定例会は、十一月二十七日に開会し、十二月十八日までの二十二日間の日程で開催されました。

平成二十一年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案二十件を審議しました。採決の結果、いずれも原案可決と決しました。

一般会計補正予算概要

一般会計補正予算の主な事業

★防災情報通信設備整備事業

〔八百二十五万二千元〕

地震津波等の災害情報や有事関連情報等の緊急情報を瞬時に伝達し、被害を軽減するため、本庁防災行政無線と連動する全国瞬時警報システムを導入する。

★ごみ処理対策費(南郷町総合支所)

〔三百万円〕

戸別方式からステーション方式へのごみの収集方法の変更により、効率的な収集体制を確立するため、新設されるごみ箱又は倉庫及びごみ散乱防止ネットの設置に対する助成を行う。

★水とみどりの森づくり事業費追加

〔二百二十九万四千元〕

植栽未済地の解消を図るため、市の斡旋により県林業公社が森林所有者から施業を受託し再造林を行う。

★飢肥城由緒施設管理費

(黒木国昭氏作品購入)

〔三百四十万円〕

宮崎県が誇る「現代の名工」黒木国昭氏が、油津にちなんだ作品を制作されたことから、市民の財産として購入し、飢肥城歴史資料館において展示公開する。

★心のプロジェクト「夢の教室」事業

〔二十八万円〕

(財)日本サッカー協会が実施。現役のJリーグや、なでしこリーグの選手などの、サッカー関係者及び他競技の現役選手が「夢」先生として自らの体験をもとに、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子供たちに伝える。

★城下町おもてなし事業費補助金

〔六十万円〕

商業者や地域が連携し、子どもの見守りや地域あげての観光客のもてなし、交流人口の増加、商店街の賑わい創出を図るための取り組みに対し助成を行う。

条例改正等

★日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じて、本市一般職の職員の給料表、住居手当及び期末勤勉手当並びに特別職の期末手当について所要の改正を行う。

【一般職の職員の給料減額】

平均〇・二%の減額

【期末勤勉手当の減額】

一般職：年間四・五〇月分↓四・一五月分

(〇・三五月分の減額)

特別職：年間三・三五月分↓三・一〇月分

(〇・二五月分の減額)

【自宅に係る住居手当の廃止】

★日南市立保育所条例の一部を改正する条例

平成二十二年四月一日より、中央保育所の民営化に伴い、所要の改正を行う

★財産の無償譲渡について

中央保育所の民営化に伴い、移管先の保育業務が円滑に行われることを支援するため、財産を無償譲渡する。

★権利の放棄について

社団法人宮崎県畜産公社からの脱退に際し、本市の同公社への出資金を放棄する。

その他の議案

★宮崎県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について

市町村の廃置分合に伴い、平成二十二年三月二十二日をもって清武町及び野尻町が脱退するため、宮崎県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について、組合を組織する地方公共団体と協議するもの。

★宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県市町村総合事務組合規約の変更について

市町村の廃置分合に伴い、平成二十二年三月二十二日をもって清武町及び野尻町が脱退するため、宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県市町村総合事務組合規約の変更について、組合を組織する地方公共団体と協議するもの。

★宮崎県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

市町村の廃置分合に伴い、平成二十二年三月二十二日をもって清武町及び野尻町が脱退するため、宮崎県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について、広域連合を組織する地方公共団体と協議するもの。

平成20年度 決算状況

平成21年3月30日の合併に伴い、平成20年度分の決算は、2段階に分けての決算となっています。

- ①平成20年4月1日～平成21年3月29日まで（旧市町の打ち切り）
- ②平成21年3月30日～平成21年3月31日まで（新市の暫定）

※ 下記に記載の表内の額については、合算額で表示しています。

〈一般会計決算の状況〉（単位：千円、％）

※地方財政状況調査で公表される数値を記載

※平成19年度については、日南地区衛生管理組合の決算額は含まれていない。

区 分	平成20年度	平成19年度	比 較	
			増減額	増減率
歳入総額 A	29,050,196	26,157,726	2,892,470	11.1
歳出総額 B	28,072,598	25,750,363	2,322,235	9.0
歳入歳出差引額 C	977,598	407,363	570,235	140.0
翌年度へ繰り越すべき財源 D	681,188	32,224	648,964	2013.9
実質収支 C-D E	296,410	375,139	△78,729	△21.0
経常収支比率	98.3	94.7	-	3.6
実質公債費比率（3か年平均）	17.9	-	-	-

一般会計決算の概要

○決算の収支の状況

平成20年度の会計決算額は、歳入総額が二百九十億五千九百九十九万六千円、歳出総額が二百八十億七千二百五十九万八千円を差し引くと、実質収支では二億九千六百四十一万円の黒字となっています。

○決算規模の状況

合併に伴い、日南地区衛生センター管理組合が合算されたことや、電算システム統合事

〈特別会計決算の状況〉

（単位：千円）

区 分	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険	8,543,419	7,892,322	651,097
老人保健	868,777	866,277	2,500
後期高齢者医療	661,573	652,610	8,963
介護保険	5,054,991	4,893,145	161,846
簡易水道	300,076	292,674	7,402
大島簡易水道	5,580	5,112	468
農業集落排水	36,931	35,296	1,635
漁業集落排水	34,887	32,747	2,140
公共下水道	261,229	300,493	△39,264
分収造林	48,272	48,272	0

〈企業会計決算の状況〉

（単位：千円）

区 分	歳 入	歳 出	差 引	
病院	収益的収支	1,029,614	1,161,810	△132,196
	資本的収支	68,240	103,242	△35,002
事業	収益的収支	904,885	818,643	86,242
	資本的収支	558,902	1,161,459	△602,557
下水道	収益的収支	695,585	667,542	28,043
	資本的収支	1,207,652	1,476,751	△269,099

決算審査特別委員会報告

業、定額給付金給付事業、旧市町借入金返済金などによる皆増及び観光資源環境整備事業、北郷小学校大規模改造事業、南郷健康福祉センター整備事業などの普通建設事業の増により、全体でも増となっています。

○付言された主な要望
▼一般会計の案件全体について
①税等の収納率について。税をはじめとする収納率の低下、未納額増加が見られる。全庁を挙げて十分な対策をとらねたい。

②ごみ処理施設関係について。南郷清掃センターにおいても多額の整備・改修費を要している。南郷地域の住民の意見を十分に配慮し、クリーンセンターへの統一化などを検討されたい。
③北郷地区及び南郷地区の活性化について。それぞれの地域資源等を活かし、さらなる地域活性化に努められたい。

採決の結果、病院事業会計決算のみ賛成少数で「不認定」となりましたが、その他については、「原案認定」と決しました。



～市政を問う～ 一般質問(個人質問)に26人が登壇

平成21年第7回定例会における「市政に対する一般質問」は、12月8日～14日までの間で土日を除く5日間で行われ、26人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたどしました。

<登壇者と質問項目>

- ① 井戸川 格議員 [市長の政治姿勢]
- ② 平原光則議員 [行政サービスの向上策、図書館運営]
- ③ 徳尾尚男議員 [平成22年度行財政に対する方針、北郷町過疎対策、合併協議会による協定項目、農林水産業の今後の取り組み、北郷温泉施設使用拡大]
- ④ 杉富 正議員 [保険・医療、学校教育、環境整備]
- ⑤ 田中重信議員 [事業仕分け、経常支出抑制、中部病院事業、指定管理者制度、災害時相互応援協定]
- ⑥ 谷口重紀議員 [道路行政、交流人口促進、雇用促進、依存症対策、環境問題、漁業の振興、交通安全対策]
- ⑦ 前田幸雄議員 [健康行政、子育て支援、介護給付サービス、高齢者優遇、学校におけるバリアフリー化、不用携帯リサイクル回収]
- ⑧ 柏田登美子議員 [公営・公共施設運営、ごみ対策、安心安全なまちづくり、活性化対策]
- ⑨ 坂田武人議員 [市長の政治姿勢、未収金対策、環境問題、教育行政、南郷・北郷自治区における行事イベント]
- ⑩ 井福秀子議員 [介護保険事業、子育て支援策、教育問題]
- ⑪ 和足恭輔議員 [国道220号青島～日南間の整備事業、扶養控除廃止による増税を財源とした「子ども手当」創設、コミュニティバスの路線の追加・再編、中心市街地活性化事業]
- ⑫ 山本定則議員 [医療問題、労働問題、環境問題、職場環境]
- ⑬ 川口和也議員 [保育所の民営化、医療問題、道路行政、上城墓地の整備、肺炎球菌ワクチンの助成]
- ⑭ 岩永憲明議員 [県営事業の負担金、貧困率と就学援助、地域医療、公立保育所の民営化、野猿対策、女性消防士の採用]
- ⑮ 豊倉照光議員 [総合計画、観光浮揚、新型インフルエンザ、吾田地区区長会の要望]
- ⑯ 山元敏郎議員 [公契約条例、市民の健康づくり対策、環境問題、姉妹都市交流]
- ⑰ 坂元啓一議員 [国直轄の道路事業、国への陳情方法の変更、中心市街地活性化、事業仕分け、貧困率、高校生の就職戦、学校教育問題、「海幸山幸」、観光客誘致事業]
- ⑱ 野川喜美子議員 [放射性物質等の持込み、豚糞尿不法投棄]
- ⑲ 倉岡郁夫議員 [前回質問のその後、観光行政、子ども議会、議会に対する情報提供]
- ⑳ 中尾貞美議員 [市営住宅の建設促進、太陽光発電の推進、農業の推進、林業の推進、人口対策、小村寿太郎侯の再認識、「食あるき・町あるき」事業等の関連、歴史的環境形成総合支援事業、各種施策の対応]
- ㉑ 濱中武紀議員 [安心・安全なまちづくり、会派研修で考えさせられたこと、漁業の振興、中心市街地活性化事業、旧サボテンハーブ園]
- ㉒ 福岡浩一議員 [教育行政、林業行政、下水道行政、大阪事務所、水産行政、スポーツ行政]
- ㉓ 甲斐 登議員 [組織機構の見直し、観光と文化活動の連携]
- ㉔ 磯江純一議員 [格差社会の是正、養豚の悪臭対策、保育所民営化、全国自治宝くじ]
- ㉕ 松本 弘議員 [市長の環境行政、観光行政]
- ㉖ 中島欽也議員 [中部病院の再生の道筋は、公金滞納対策と税金徴収対応、市長と語る会において市民の声は]

8 ページ以降、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。



新生ウラフ
井戸川 格 議員

東九州自動車道と国道三〇号について

(問) 東九州自動車道の事業進捗率はどうなっているのか。

(答) 本年十一月現在、「清武く北郷」が約四九%。「北郷く日南」が、約四二%となっている。

(問) 今後の対応はどうするのか。

(答) 県や他市、関係団体とも連携しながら、要望活動を積極的に続ける。

(問) 東九州道、日南インターチェンジ周辺の日高嶋を中心とした農地の農振指定を外す考えはないか。

(答) 高速道路の進捗状況等を見極めながら、検討している。

(問) サンメッセは、ゴールデンウィーク等の時、渋滞が起きている。緩和するためサンメッセの協力を得て「ゆずり車線」をつくることはできないか。

(答) 今後、道路管理者である国土交通省と、実情を踏まえ相談をする。

猿猴対策について

(問) 民間の方が、撃退するスメルガン(忌避剤・液体)を開発されている。市として推奨する考えはないか。

(答) 各地域、各農家の取り組みを基本として、進めていただくのが、最良と考えている。

行政サービス向上策について

(問) 行政評価制度を本格的に導入する考えはないか。

(答) 外部評価の導入に向け、取り組みを進める。

(問) 市民と行政の約束制度を積極的に導入する考えはないか。

(答) 今後、検討する。

(問) 市職員の地域担当制度を導入する考えはないか。

(答) 今後、導入に向け、取り組みを進める。

図書館の運営について

(問) 市立図書館の図書貸し出しを「伸ばす」ためには、どのような策を考えているのか。

(答) 貸し出し増につなげる要因として、図書館職員、ボランティアグループのお話、各種体験講座、図書館まつり等を開催し、市民の方々に来館の機会を増やし、貸し出し数の増加につなげていこうと考えている。

(問) 新たな策の考えはないのか。

(答) 来年度には移動図書館車(たいよう号)を開始する。図書館から離れた地域の方々へのサービスの向上を図り、貸し出しの増加につなげる。



新生ウラフ
平原 光則 議員



新生ウラフ
徳尾 尚男 議員

二十二年度行財政方針について

(問) 一般会計当初予算の規模、編成はどの程度考えているのか。

(答) 規模は現在、予算編成中である。編成は、現行制度に基づいて行い、制度等が決定した後に補正予算で調整する。

(問) 重点施策は、どのようなことを考えているのか。

(答) 行財政基盤の確立、協働のまちづくり、第一次産業や商工業の振興、環境にやさしいまちづくりや市民の安全・安心なくらしの実現、社会基盤の整備、子育て支援や教育の充実、市民の健康づくりなどを考えている。

北郷町過疎対策について

(問) 過疎対策法が延長されるようであるが、今後も、以前同様な対象となるのか。

(答) 現在のところ、要件等の具体的な内容が示されていない。引き続き、対象地域となるものと認識している。

今後も引き続き、県並びに関係機関等と連携を図りながら、対象地域の継続について、訴えていく。

(問) 新たな過疎対策法の取り組み計画はどのような事業を考えているのか。

(答) 現在策定中の総合計画等を踏まえ、検討する。

保険・医療について

(問) 医療費の現状はどうなっているのか。

(答) 本市の医療費適正化対策事業における一人当たりの医療費は、三十四万三千十円で県内四番目。六十歳以下の比較的若い世代の医療費の高さが、主な要因である。

(問) 抑制策はどう考えているのか。

(答) 市としては現在、「検診を受けたくなるユニークな受診案内」や平日受診できない働き盛りの若い方々のために、「土・日検診の実施」等を検討している。

学校教育について

(問) 吾田小学校の運動場整備計画はどうなっているのか。早期に工事を実施すべきではないか。

(答) 学校からも要望があるので、今後は運動場の整備を優先的に取り組む。

(問) 吾田小学校に障がい者用トイレを設置する考えはないか。

(答) 今後、校舎改修の機会に併せて検討する。

吾田地区自治会からの要望事項について

(問) 戸高川上流端から交差している大谷川の改良について現地調査し確認したのか。

(答) 現地調査の結果、河川に土砂が堆積している状況を確認した。

今月中に、土砂除去工事を発注する。



新生ウラフ
中川 正 議員



清風会
田中 重信 議員

事業仕分けについて

(問) 国県に準じて、市民参加による外部政策評価制度を導入すべきではないか。

(答) 削減優先に疑問はあるが、検討する。

経常収支比率抑制について

(問) 新市の経費削減の取り組みは十分か。

(答) 平成二十年度比率は九八・三％である。喫緊の対策として行政改革大綱を策定し、行政効果向上と合理化に努める。

中部病院事業について

(問) 累積赤字十三億円の対策として、外部専門家による経営分析と、今後の経営指標の確定が急務ではないか。

(答) 一部有識者を構成員とする病院検討委員会を設置した。専門機関による経営診断も検討する。

指定管理者制度について

(問) 収支から見ても委託料の算定は適正か。

(答) 一部、繰越剰余金が一千万円を越えるものもあるが、企業努力の結果である。

(問) サービスの向上や経営合理化など、指導監督責任をどう果たすか。

(答) これまでも各三十三の施設では導入効果を上げている。市としては、業務・財務報告書の提出で十分と判断する。

(問) 市職員OBの天下りはあるか。

(答) 一部に専門家として在職している。

交流人口促進について

(問) 飲肥「食べあるき・町あるき事業」をモデルに、油津、南郷、北郷という点を線に、また面へとつなげる考えはないか。

(答) 北郷から南郷まで散策マップを作成し、各地域の観光資源を組み合わせた観光ルートなどの情報をPRする。

雇用促進について

(問) 若者とそれ以外の雇用対策はあるか。

(答) 日南高等職業訓練校などの関係機関と連携し、「冬のみやざき就職フェア」の参加企業等を参考にする。

依存症対策について

(問) パチンコ依存症対策はあるのか。

(答) 日南保健所や県精神保健福祉センターで相談を受けている。市は無料の多重債務専門の相談日を設けている。

(問) 薬物依存症対策はあるのか。

(答) 警察や保健所、関係機関と連携し、家庭、学校、地域で啓発活動をしている。

(問) ニコチン依存症対策はあるのか。

(答) 禁煙支援プログラム等が、医療機関や日南保健所で実施され、市として、健康教育や健康相談で知識の普及啓発している。

環境問題について

(問) 産廃許可業者の整備助成はないか。

(答) 産廃廃棄物処理適正化支援などである。



公明党日南市議団
谷口 重紀 議員



公明党日南市議団
前田 幸雄 議員

健康行政について

(問) 肺ガン検診(ヘリカルCT)は次年度も実施するか。

(答) 引き続き実施する。

(問) 前立腺ガン検診導入の進捗状況はどうなっているのか。

(答) 実施の方向で進めている。

子育て支援について

(問) 子育て応援特別手当が政権交代により執行停止となったが、本市での独自支援策はできないのか。

(答) 財政的に困難である。

介護給付サービスについて

(問) 住宅改修費用の償還払いを負担軽減の為、直接支払い制度にできないのか。

(答) 実施の方向で検討している。

高齢者優遇について

(問) 単独世帯において喜寿での祝賀式典はできないのか。

(答) 考えていないが、なお一層の福祉の充実に力を入れていく。

学校のバリアフリーについて

(問) 現在の整備状況及び今後の整備計画はどうなっているのか。

(答) 油津小では障害者用トイレ、スロープが整備中であり、これを油津中の普通教室にも設置計画をしている。

公営公共施設運営について

(問) 北郷に設置の特定公共賃貸住宅二棟二十六戸中、空き戸数、空き期間はどうか。

(答) 七戸が空き家で、その期間は五カ月から一年八カ月だ。用途変更等を視野に入れ、入居要件の緩和を今後検討する。

ごみ対策について

(問) 来年度に有料化になるごみ袋。紙おむつ使用世帯に対し、無料化できないか。

(答) 県内九市の状況調査をし、庁内でも関係部署等を交え慎重に協議をした結果、今回は見送ることになった。次年度については、ごみ対策検討委員会等と話し合う。

安心安全な街づくりについて

(問) 大堂津二丁目JR沿線の側溝の水はけが悪く、大変不衛生だ。国交省、JR、市にかけあったが、責任の所在がはっきりしない。本市で対応ができないか。

(答) 施設の所有はJRだが、排水路約七十メートル区間に国道、市道の雨水も流入しているため、共同で取り組むことになった。実施時期は今後、調整する。

(問) 日南駅周辺が大変暗い。イルミネーションでライトアップできないか。

(答) 防犯上から、十時以降の照明確保については今後、検討する。



公明党日南市議団
柏田 登美子 議員



新南郷会
坂田 武人 議員

市政に対する考えについて

(問) 新市の方向性をどう考えているか。

(答) 「市政は経営なり」をモットーに、「あなたと創る夢のあるまち」の創造を目指し、新市の基礎づくりを全力を傾注する。

未収金対策について

(問) 平成二十年度決算を見ると、一般会計で十数億円の未収金が発生している。危機意識はあるのか。

(答) 庁内でもプロジェクトチームを作って未収金対策に取り組んでいる。税を払えるのに払わないというケースに対しては厳しく対処していく。

教育行政について

(問) 学力調査評価後の取り組みはどうか。

(答) 基礎学力アップ事業として市内四校を指定し、夏季休業中の合同研修会や公開研究授業を行った。また、学校訪問を行い、授業改善や指導力の向上も図っている。

(問) 学力もスポーツと二緒で競争意識を持たせる環境づくりが大事。テスト成績を張り出してみたらどうか。

(答) 児童・生徒が切磋琢磨するには、教師の日々の授業と、生徒一人ひとりに自分の目標を持たせることが大切。個人・人権情報保護の立場から、成績の張り出しは全国的にもやっておらず、考えていない。

介護保険事業について

(問) 施設入所待機者が六百六十二人もいる。施設の定数とその対策はないのか。

(答) 日南・串間圏域で定数は千四百六十六人で、小規模住宅施設を二つ増やす。

(問) 介護度の重い人の家庭介護は並大抵ではない。要介護五と四の二百三十九人の未利用者の実態調査をする考えはないか。

(答) 重い人については調査をしてみたい。

(問) 月収一万五千円未満の普通徴収者の滞納が四〇%を超えている。免除は無理か。

(答) 全額免除を国が認めないので困難。

子育て支援策について

(問) 子育て支援の中核となるファミリーサポートセンターを設置できないか。

(答) 援助会員の整備が必要なので、即実施は困難である。来年度、つどいの広場で二時預かり事業をモデル的に実施する。

(問) 認可外保育施設にも就園奨励費補助金を出す考えはないか。

(答) 検診費用等の一部助成はしているが、国の補助基準がないので助成できない。

教育問題について

(問) いじめや体罰があると安心して学校へ行けない。その実態と対策はどうか。

(答) いじめ一件、体罰一件あった。学校でアンケート、教育相談も実施している。



日本共産党日南市議員
井福 秀子 議員



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

国道三〇〇号の改良整備事業について

(問) 概算要求が見送られた青島・日南間の防災・改良整備事業の予算獲得に向け今後どういう取り組みをするのか。

(答) いつでも安全、安心に通行できるように必要な防災対策がなされるよう、国に対して精一杯運動を展開していく。

コミュニティバスの再編問題について

(問) 路線の追加等、住民の要望に応えるための事業展開は、今後どうなるのか。

(答) 路線や時間の変更など様々な意見・要望が寄せられている。コミュニティバスを含む公共交通手段の存続確保、公共交通の空白地帯への早急な対応が必要であり、来年度、市内全域における総合的な交通体系の見直しを行う。

中心市街地活性化事業について

(問) 油津地区住民へ「基本計画(素案)」は説明してあるのか。

(答) 中心市街地活性化協議会作成のリリースを旧市内の全世帯に配布した。

(問) 今年三月に予定していた、国への基本計画申請が遅れている。ハード事業費をどれくらい見込んでいるのか。

(答) 実施中の二十二事業は五年間で五億円を見込み、新規事業は事業実施の確実性を検証中であり、今のところ積算は困難。

県立日南病院の小児科医確保について

(問) 宮崎県医療計画によると、県は三つの医療圏を設定し、県南地区は宮崎市と同じ圏域となる。今年度までの条件確保はできて、次年度以降の医師確保が未定である。医師確保に向けての考え方はどうか。

(答) 県が策定した「こども医療圏」構想についても、「周産期医療圏」との総合的な体制整備が必要とことから、現在の三ブロックから、日南・串間圏域を加えた四ブロックへの見直しを図っていたが、今更にも機会あるごとに要望活動を行う。

なお、様々な取り組みの結果、時間外の軽症患者の受診は徐々に減少していると感じているので、活動の成果が見えてきたと考えている。

雇用対策について

(問) 正規・非正規労働者のリストラが増えている。雇用の拡大を図り、若者が希望のもてる社会をめざすべきと考えられているか。

(答) 雇用の確保を図り、市民が安心して暮らせる社会を築いていくことが、重要な課題である。地場産業の育成、企業誘致、就業機会の創出を図ることが必要。企業立地環境の整備に努めてきた。



社民クラブ
山本 定則 議員



社民クラブ
川口 和也 議員

住宅密集地内里道の市道認定について

(問) 住宅密集地内で、防災上問題である四メートル以下の道路は、市道認定基準の「市長が認めるもの」の項目を適用して市道とし、整備を図る考えはないか。

また、負担となる測量費用の軽減はできないか。

(答) 施策的に、認定した特殊なものには僅かにあるが、基本的に基準を順守していく。また、測量費用の軽減は、調査していく。

上城墓地の整備について

(問) 側溝蓋の段差など、高齢の方に危険な箇所が多々あり、安全に考慮した整備を図る考えはないか。

(答) 利用者や石材組合などから、意見を聞きながら、段階的に整備を図っていく。

保育所民営化について

(問) 保護者には、当局の財政論に押し切られ、了承したと見えるが、今でも納得されていない方がいる。どう判断しているか。

(答) 市の説明に、納得されたものと考えている。

(問) 保育現場職員の保育のあり方と、当局の考え方の隔たりを、どのように把握しているか。

(答) 今後の保育行政などを説明し、理解を得たものと考えている。

県営事業の負担金について

(問) 県単独事業の市負担金のルールと割合はどうなっているのか。

(答) 受益の限度において負担することになっていく。各事業費の五〜一〇%である。

貧困率と就学援助について

(問) 市の貧困率は何か。

(答) 推計することが困難である。

(問) 就学援助を受けている児童、生徒の人数と世帯数はどうなっているか。

(答) 十九年度が四百四十五人で、児童、生徒全体の九・一%。二十年度は、五百十三人で一・一%、二十一年度は、五百七十八人で二・九%と年々援助を受ける対象世帯が増えている。

地域医療について

(問) 延岡市では「地域医療を守る条例」を制定され、コンビニ受診の抑制等市民の受診に伴うモラルの向上が図られている。本市でも条例化できないか。

(答) 検討する。「こども・いのち・つながり」と協働し、様々な啓発活動を今後取り組む。

公立保育所民営化について

(問) なぜ、ここまで急ぐのか。

(答) 旧日南、南郷の七か所の経験と実績から、短期間で実施できると判断した。



社民クラブ
岩永 憲明 議員



社民クラブ
豊倉 照光 議員

総合計画について

(問) 本市の将来像を「緑と黒潮が育む産業、文化、交流都市」にするところだが、具体的な交流とはどんな事を指しているか。

(答) まちづくりは行政主導で行うべきではなく、市民全体で市民のために行うべきで、市民と行政の相互理解のもと、協働して推し進めていく。

また、市民、企業、行政が互いの役割を担い、能力を発揮する協働型社会の実現、すなわち市民相互の交流策を展開する。

交流人口の増加について

(問) 新日南市となって考えられる観光の浮揚策はどのように考えるか。

(答) 合併により観光資源が増え、食の観点からも海の幸、山の幸と様々な優れた素材を有し、現在、これらの観光資源を組み合わせた観光ルートの商品化に取り組む。

(問) 必ず起きるキャンプファイバーへの対応はどうか。

(答) 埼玉西武ライオンズに入団した菊地雄星選手が来春、南郷キャンプに参加する。本市がマスコミ等を通じて全国に発信できる絶好のチャンスであり、また、キャンプ期間中は観光客への案内板の増設、バス運行増便など万全を期す。

公契約条例について

(問) 公共工事や清掃委託業務等の発注のもとで、労働者の賃金抑制や単価引き下げが行われている状況から、千葉県野田市では全国初の公契約条例を制定し、二〇二〇年から施行される。この条例制定に対する見解と、本市として取り組む考えはないか。

(答) 条例の趣旨は理解できるが、労働者の労働条件向上のための規則は、国による法制定によるべきものと考え、今後も過度な競争によって、労働者の労働条件の悪化を招かないよう努力していく。現在のところ、独自の条例制定は考えていない。

市民の健康づくり対策について

(問) 要介護の主要因「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」対策はどうか。

(答) 特にその対策はとっていないが、介護予防対策事業として、「特定高齢者施策通所型介護予防教室」を実施している。

環境問題について

(問) 再生バッテリー、LED照明、節水システム、屋上緑化について、それぞれメリットがある。導入啓発する考えはないか。

(答) 省エネルギーや二酸化炭素吸収の促進などにより、温室効果ガスの削減に効果があるので、提案の諸施策について積極的に議論し、今後の活用の方角性を検討する。



社民クラブ
山元 敏郎 議員



無会派
坂元 啓一 議員

高校生の就職戦線について

(問) 日南市内の高校の就職内定率等の状況はどうなっているのか。

(答) 学校ごとの求人情報は把握していないが、ハローワーク日南管内の十月末現在の資料では、来春高卒求職者数二百十一人に対して、求人数は百二人。有効求人倍率は、〇・四八である。なお、就職内定率は、十一月末現在で、六三・一％である。

(問) 県では独自の緊急対策として、高校・大学の新卒者百五十人を臨時雇用するという政策を打ち出したが、本市では、そのような考えはないのか。

(答) 市単独では、なかなか困難ではないかと思っている。

新型インフルエンザ対応策について

(問) 新型インフルエンザによる授業日数の不足問題にどう対応するのか。

(答) 最も多い対応策としては、週当たりの授業時数を、どの曜日かで、一時間増やす。その他に、冬季休業中に授業日を設ける予定にしている中学校が三校ある。

(問) 高校入試における対応はどうか。

(答) 県立高校においては、基本的に従来の季節性インフルエンザと同様の対応をする。私立高校でも該当する中学校と密接に連絡を取り、状況に応じた対応をとる。

放射性物質等の持込みについて

(問) 南郷町で制定されていた「放射性廃棄物等の持込み及び原子力関連施設の立地拒否に関する条例」が新日南市に引き継がれていなかったのはなぜか。

また、その引き継がないとの判断は、誰がしたのか。

(答) 「合併に伴う例規整備方針」に基づき、三市町の首長及び副首長、総務課職員等で構成する合併準備推進本部会議において決定し、市長職務執行者が専決した。

豚糞尿不法投棄について

(問) 養豚業者「南郷ファーム」の豚糞尿の不法投棄発覚後、行政は、どう対応したか。

(答) 業者に対し、投棄現場の原状回復、施設の改善、従業員教育の徹底を促した。

また、五回現場に向向き、調査・指導を行った。今後、新たな公害防止協定の締結に向けて作業を進めている。

(問) 地元住民から通報があるまで全く気がつかなかったのは、行政として怠慢ではないか。施設の処理能力等の調査はしてきたか。

(答) 定期的に立ち入り調査を実施し、豚の頭数の確認を行っている。



改政クラブ
野川 喜美子 議員



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

観光行政について

(問) 合併して様々な観光資源がある中で、各地域の特性を生かした新たな、新日南市の観光パンフレット作成を検討しているか。

(答) 現在は、本年三月に県南二市二町で作成したものを活用しているが、効果的な観光情報の発信のためにも、新年度に新たなものを作成する予定である。

(問) 日南市の各地の観光名所をシールにして、ペットボトルに貼り、観光宣伝に効果的な飲料水を製作する気はないか。

(答) 観光宣伝効果や経済効果があると考えており、今後、各関連機関と研究していく。

子ども議会について

(問) 子どもの頃から、日南市政に関心を持ってもらうという点では、大変意義があると思うが、市長や教育長の評価はどうか。

(答) 小中学生が、将来の日南市の姿を真剣に考えてくれていることに対して、感銘を受けた。(市長)

参加した子どもたちにとって議場で体験は、議会の仕組みを知るだけではなく、生まれ育ったふるさとを大切に思う気持ちや、ふるさと愛の心を育む貴重な財産になったと思う。(教育長)

林業の推進について

(問) 林道や作業道の状況が悪いが、森林整備の効率化を促すため、改良・舗装することはできないか。

(答) その必要は認識しており、県及び森林組合と協議していきたい。

人口対策について

(問) 中山間地域の人口対策は、今後、特に必要だが具体的対策はあるのか。

(答) 「魅力あるまちづくり実践事業」による補助制度や、県の「中山間盛り上げ隊」による事業等を、積極的に活用していく。

各種施設の対応について

(問) 旧山本猪平邸前の電柱移設に伴う事業は、どこまで進んでいるか。

(答) 国において「第六期無電柱化推進計画」の基礎となる骨子の策定が進められており、その中で対象路線が確定される。

(問) 上板敷の上水道計画の見直しはどうか。

(答) 合併に伴い、総合計画の中で「水道ビジョン」を策定しており、この中で検討していく。

(問) 元狩倉日南線の永吉交差点の信号機設置予定は、いつ頃になるか。

(答) 公安委員会の所管であり、引き続き早期設置を要望する。



改政クラブ
中尾 貞美 議員



改政クラブ
濱中 武紀 議員

安心・安全なまちづくりについて

(問) 東九州道日南・北郷間、国道二二〇号の事業見送りに対する対応はどうか。

(答) いずれも市民の大きな「命の道」であり、予算確保に向け最大限の努力をする。

(問) 富士郷の原線整備の考えはどうか。

(答) 県道昇格に向け、整備促進を図るとともに、当面の対策必要箇所については、有利な事業の取り組みを検討する。

(問) 公共交通機関等のない地域の高齢者等への対応はどうするのか。

(答) 公共交通の空白地帯への対応など、総合的な交通体系について見直しをする。

(問) 職員のボランティア制度をつくる考えはないか。

(答) 現在のボランティア休暇の枠を、更に拡大するか調査、検討する。

漁業の振興について

(問) 魚佃安、燃油高騰への具体的な支援策はあるか。

(答) 漁船保険補助については、二十一年度予算で決定する。燃油高騰緊急対策は、動向を見極めながら対応する。

中心市街地活性化事業について

(問) 取り組みの状況はどうか。

(答) 提案している事業実施の確実性とその効果を検討している。

教育行政について

(問) 宮崎県教育委員会が示す、宮崎の五つの教育プランの推進にどう取り組んでいるか。

(答) 学校・家庭・地域が一体となった教育環境の推進。地域の特性を活かした、多様な一貫教育の推進。学力向上対策の推進。命を大切に教育の推進。障がいのある子どもへの教育の推進。これらの教育に全力を挙げて取り組んでおり、今後も、夢と創造と感動の日南教育を推進していく。

林業行政について

(問) 木材を核とするまちづくりを提唱しているが、トップセールスの成果を示せ。

(答) 舩肥林業振興対策協議会の会長として那覇市、韓国にセールスをした。その結果、那覇市の公共住宅での舩肥杉使用の確約と民間木造住宅組合幹部の日南訪問で製材工場見学等が実現し、確実に成果が出ている。

(問) 舩肥杉モデルハウスの来年度建設計画は進んでいるのか。また、予算確保はできているのか。

(答) 今年度で設計コンペを行い、来年度は各種業界団体との検討委員会を立ち上げ、前向きに取り組む。予算についても積極的な確保に努力する。



市民自由クラブ
福岡 浩一 議員



市民自由クラブ
甲斐 登 議員

組織機構の見直しについて

(問) 北郷町は、今年四月に幼小中一貫教育を始めたばかりであるが、来年度には、その主管課である北郷教育課職員を削減するという事であるが、時期尚早ではないか。

(答) 学校教育部門については、教育専門対策監、教育指導主事等、多くの教育専門スタッフを有する本庁の学校教育課を中心に効率的な一貫教育の検証事務を行い、組織体制を整える。

(問) 教育委員会で異論はなかったか。

(答) 教育には、専門性が求められ、本庁には数名の専門スタッフがいる。その観点から判断した。

(問) 北郷町の下水道事業は、まだ数年事業が残っている。また、加入率も五〇%程度である。なぜ、分室を廃止するのか。

(答) 事業執行の効率化を図るためである。

観光と文化活動の連携について

(問) 日南文化芸術協会は、韓国の華道協会と交流がある。芸術協会と連携し、国際交流と観光誘致の推進を図る考えはないか。

(答) 国際交流補助基金等を活用し助成している。今後も、必要な事業等には予算措置を行う。

格差社会の是正について

(問) 市職員給与を、市民の極めて厳しい実態(平均年収約百八十万円)を踏まえてどのように考えているか。

(答) 市職員は、多岐にわたる複雑な自治業務に昼夜を問わず励んでおり、その能力及び業務に見合う報酬を受けている。給与カットは考えていない。

(問) 前衆議院議員、河村名古屋市長は、「朝ズバ」の中で、税金を納める市民より公務員給与が二倍も多い(本市では二〜三倍)のは、八百長だと言った。市長の考えはどうか。

(答) テレビを見ていないが、今は、行財政計画を進めて、職員の数を削減していく。

(問) 職員の中で夫婦共働き、夫婦役付は何組いるか。片方退職に伴う新しい人材の雇用も図れるという市民の声もあるが。

(答) 六月一日現在で、夫婦共働き職員は、七十三組、どちらかが係長級は三十九組、夫婦とも係長級は、十一組である。

それぞれの目的を持って市役所に入った人達なので、それなりの責任を果たしているものと考えている。当然、人事管理の上からも夫婦共働き職員の片方退職勧告は考えていない。



市民自由クラブ
磯江 純一 議員



市民自由クラブ
松本 弘 議員

環境行政について

(問) 旧日南市・旧南郷町では、下水道工事が進んでいる。工事の進捗状況はどうか。

(答) 平成二十年度末現在、事業認可計画面積に対して、旧日南処理区八〇%。旧北郷町郷之原処理区七二%となっている。

(問) 下水道事業の実施困難な山間地域の合併浄化槽整備事業の今後の計画を示せ。

(答) 合併処理浄化槽の設置に向けて、水質浄化の啓発活動や補助金の活用を広報するなど推進に努める。

王子製紙日南工場最終処分場について

(問) 焼却灰の最終処分場を新たに建設中であるが、市当局に事前説明がなされたか。

(答) 現在、使用している処理能力が限界に近く完了する。許認可を有する宮崎県の指導を経て、平成十九年末に説明があった。

(問) 工場が一九九一年から、現在使用している最終処分場について、市当局は、環境調査を何回行ったか。

また、環境アセスメントについて住民説明会をしたか。

(答) 市当局単独での環境調査は実施していない。工場の自社調査に基づく調査資料で、施設が地域環境に及ぼす環境被害について、住民説明会が開催された。市全域の環境問題には常に注視していく。

中部病院再生の道筋について

(問) 病院経営検討委員会の開催は行われたか。

(答) 十月二十一日に第一回委員会を開催した。委員構成は、公認会計士、自治会、民生・児童委員など外部者を委員とした。

今後の方針は、委員会の意見を基に進め、収支の改善、市立病院の必要性を含めて、どうあるべきか、医師確保の見通しなどを検討する。

(問) 外部監査の導入についてどうか。

(答) 現在、経営検討委員会や不正再発防止対策委員会の委員に、公認会計士の方にもお願いしている。今後、外部監査の必要性がある場合は検討する。

(問) 医師確保についてはどうか。

(答) 十月一日付けで、内科医の先生に入局いただき、現在、三名の医師と交渉中である。その内、一名については、新年度からの採用に向けて交渉をしている。

税金徴収対応について

(問) 徴収率の向上についてどうか。

(答) コンビニ納税は庁内で協議を重ね、平成二十三年四月の実施に向け、実施する科目、電算システムの改修経費等について先進地視察を踏まえ、最終的にまとめる一方、市民の利便性、行政サービスに努める。



市民自由クラブ
中島 欽也 議員

常任委員会報告

総務文教常任委員会

(委員長) 平原光則(副委員長) 安竹 博
(委員) 山本定則、倉岡郁夫、鈴木教夫、渡邊倫章、河野哲夫、田中重信、松本 弘、川口敏治、影山一雄

総務文教委員長報告

◎第七回定例会

議案第七十四号「日南市一般職の職員給与に関する条例等の一部を改正する条例」。内容は、人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、本市一般職等の職員の給料表、住居手当、期末手当及び勤勉手当等並びに特別職の期末手当について、所要の改正を行うため条例改正を行うものです。

議案第七十五号「宮崎県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について」。内容は、市町村の廃置分合に伴い、宮崎県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について、同組合を組織する地方公共団体と協議する必要があるため、地方自治法の規定により提案されたものです。

議案第七十六号「宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県市町村総合事務組合規約の

変更について」。内容は、市町村の廃置分合に伴い、宮崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮崎県市町村総合事務組合規約の変更について、同組合を組織する地方公共団体と協議する必要があるため、地方自治法の規定により提案されたものです。

議案第八十三号「財産の減額譲渡について」。内容は、遊休市有財産の解消を図るとともに、本年度に限定した景気対策として市有財産を減額譲渡したいので、地方自治法の規定により、提案されたものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、陳情第一号「安全・安心な国民生活実現のため、国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情」及び陳情第十五号「国に「治安維持法犠牲者への国家賠償法(仮称)制定」を求める陳情」については、いずれも引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

厚生常任委員会

(委員長) 杉富 正(副委員長) 福岡浩一
(委員) 野川喜美子、川口和也、岩永憲明、細田 勝、井福秀子、谷口重紀、井上 進、長友喜昭、坂田武人

厚生委員長報告

◎第七回定例会

議案第六十五号「平成二十一年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第二号）」。

議案第六十六号「平成二十一年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）」。

議案第六十七号「平成二十一年度日南市介護保険特別会計補正予算（第二号）」。

議案第六十八号「平成二十一年度日南市病院事業会計補正予算（第三号）」。

議案第六十七号「宮崎県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について」。

議案第七十八号「日南市立保育所条例の一部を改正する条例」。内容は、中央保育所の民営会に伴い、所要の改正を行う必要があるため条例改正を行うものです。

議案第七十九号「財産の無償譲渡について」。内容は、中央保育所の民営化に伴い、移管先の保育業務が円滑に行われることを支援するため、財産を無償譲渡したいので、地方自治法の規定により提案されたものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、陳情第十一号「国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の四五％に戻すことを求める意見書採択に関する陳情」については、採決の結果、賛成多数で採択と決しました。

なお、請願第十二号「改正国籍法の厳格な制度運用を求める請願書」、請願第十三号「後期高齢者医療制度の即時廃止の意見書提出の請願書」、請願第十四号「二〇二〇年度の年金確保に関する請願書」については、いずれも引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

産業経済常任委員会

(委員長) 坂口義弘 (副委員長) 黒木盛明
(委員) 和足恭輔、山下武典、長友昭三郎、柏田登美子、坂元啓一、磯江純一、豊倉照光、井戸川格

産業経済委員長報告

◎第七回定例会

議案第八十号「権利の放棄について」。内容は、社団法人宮崎県畜産公社からの脱退に際し、本市の同公社への出資金を放棄することについて、地方自治法の規定により提案されたものです。

議案第八十一号「日南市土地改良事業分担金徴収条例」。内容は、県営土地改良事業及び市営土地改良事業について、合併調整方針に基づき、旧三市町の制度を統一したことに伴い、新たに、分担金の徴収に関する必要な事項を定める条例を制定するため提案されたものです。

議案第八十二号「日南市農村公園等条例の一部を改正する条例」。内容は、坂元棚田及び水と土ふれあい公園を農村公園として管理することに伴い、その名称及び位置を定めるため、提案されたものです。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、陳情第二号「協同出資・協同経営で働く協同組合法」（仮称）の速やかな制定を国に求めることについての陳情」については、引き続き慎重な審査が必要であるとの意見が多数を占め、閉会中の継続審査となりました。

建設水道常任委員会

(委員長) 徳尾尚男 (副委員長) 前田幸雄
(委員) 松田謙一郎、濱中武紀、中尾貞美、甲斐 登、山口 満、國貞 章、山元敏郎、中島欽也

建設水道委員長報告

◎第七回定例会

議案第六十九号「平成二十一年度日南市農業集落排水特別会計補正予算（第二号）」。

議案第七十号「平成二十一年度日南市漁業集落排水特別会計補正予算（第一号）」。

議案七十一号「平成二十一年度日南市公共下水道事業会計補正予算（第一号）」。

議案七十二号「平成二十一年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算（第一号）」。

議案七十三号「平成二十一年度日南市水道事業会計補正予算（第二号）」。

採決の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

予算審査特別委員会報告

◎第六回臨時会

議案第六十号「平成二十一年度日南市一般会計補正予算（第三号）」。

今回の補正の内容は、新型インフルエンザワクチン接種助成事業に伴う経費を計上しており、補正後の予算額は二百五十六億七千五百万円となりました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

◎第七回定例会

議案第六十四号「平成二十一年度日南市一般会計補正予算（第四号）」。

今回の補正の内容は、農業及び消防費関係の国県補助金の決定に伴う経費、市民の生活環境充実のためのごみ処理対策に係る経費について予算の補正を行うとともに、人事院の給与勧告及び職員の人事異動等の影響による人件費の調整及び退職者の増加に伴う退職手当の追加、繰越明許費の設定及び債務負担行為の追加を計上している。今回の補正額は二億八千万円で、補正後の予算総額は、二百五十九億五千五百万円となりました。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議 会 日 誌

(11月1日～12月31日・抜粋)

<11月>

- 4日 愛知県北名古屋市長来訪
- 9日 京都府宮津市長来訪
東京都稲城市市長来訪
新生クラブ・公明党合同行政視察
(11日まで)
- 10日 市民自由クラブ行政視察
(12日まで)
福島県白河市市長来訪
- 11日 改政クラブ行政視察
(13日まで)
新潟県上越市長来訪
- 13日 在京日南の会総会(東京)
- 15日 近畿日南の会総会(大阪)
- 16日 東九州自動車道鹿児島・宮崎建設促進期成会中央要望(東京)
- 17日 産業経済委員会所管事務調査
(北郷町商工会との意見交換会)
- 18日 全国市議会議長会評議員会
(19日まで、東京)
- 20日 議会運営委員会
第18回宮崎県市議会議員研修会
- 22日 合併記念式典
(南郷ハートフルセンター)
- 24日 日南市県道河川整備促進期成同盟会要望(県知事)、県立日南病院小児科存続要望(宮崎大学)
- 26日 産業経済委員会所管事務調査
(養豚環境について:志布志市・曾於市)
- 27日 第7回定例会開会(12/18まで)
議会改革研究会
- 30日 議会だより編集委員会

<12月>

- 1日 東九州自動車道「日南～串間～志布志間」建設促進協議会要望活動
- 16日 総務文教委員会所管事務調査
産業経済委員会所管事務調査
- 17日 議会だより編集委員会
- 18日 全員協議会、議会改革研究会

【第7回定例会で議員提出議案として提出した意見書】

- ①「東九州自動車道及び国道220号防災対策未実施区間」の予算確保を求める意見書
- ②悉皆方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書
- ③高速道路原則無料化の撤回を求める意見書
- ④新たな防衛計画の大綱の速やかな策定を求める意見書
- ⑤平成22年度予算の年内編成を求める意見書
- ⑥農山漁村の多面的機能を維持する施策の推進を求める意見書
- ⑦「新過疎法」の制定促進を求める意見書
- ⑧国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める国への意見書

議会改革研究会

平成二十一年七月十四日に設置された、この研究会では、開かれた議会、議会の本来の機能を十分発揮し、住民の付託に応えることのできる議会づくりを目指し、次のことを調査、研究しています。

- 一、政治倫理条例について
- 二、議会の公開について
- 三、議員定数について
- 四、各常任委員会の公開、傍聴について
- 五、請願・陳情等を市民自身が行う機会の保障について

★日南市議会ホームページ をご覧ください

[\[http://www.city.nichinan.lg.jp/modules/contents10/index.php?content_id=4\]](http://www.city.nichinan.lg.jp/modules/contents10/index.php?content_id=4)

〈掲載している主な内容をご紹介します〉

- ①議員名簿(全体名簿、各常任委員会委員名簿、議会運営委員会委員名簿)
- ②議会年間スケジュール、会期及び会期日程、提出議案一覧、議決結果
- ③会議録検索システム
※過去の旧日南市、旧北郷町、旧南郷町議会分も見ることができます。
- ④市議会の概要(機構図、議場内席表) など

編集後記

▼合併前の三市町の一般会計はピーク時で約二百七十億円規模でしたが、今後十年間は年間二百五十億円程度と想定しています。政権交代で将来予測が困難ですが、財政規模の縮小にどう対応していくかは極めて大きな課題です。▼人件費や市債残高の抑制等への更なる取り組みと併せて、現在、市民で取り組んでいる各種協働の事業にそのヒントがあると思います。▼補助金に頼らず、行政と市民や各種団体が互いに補完しあって郷土を育むという、意識改革が必要となっています。

市議会だより編集委員会

委員長 田中重信

あなたも「本会議」を傍聴してみませんか？

本会議は、議会の生の声を聴くことのできる絶好の機会です。

本会議の傍聴は、議会事務局で受付をしていただくだけで、予約等の面倒な手続は必要ありません。



ぜひ、傍聴にお越しください。(次回定例会は2月25日開会予定です)

この号、または、日南市議会に関するお問い合わせは、日南市議会事務局(0987-31-1142)まで。